

コロナ下不登校最多

昨年度 全国の小中校19万6127人

新型コロナウイルス感染が拡大した二〇二〇年度、

全国の国公私立の小中学校

で三十日以上欠席した不登

校の児童生徒は十九万六千

百二十七人で、前年度より

一万四千八百五十五人増え

て過去最多だったことが十

三日、文部科学省の問題行

動・不登校調査で分かつ

た。小中高校と特別支援学

校が認知したいじめは九万

五千三百三十三件減の五十

一万七千六百十三件で、一

三年度以来の減少となっ

た。小中高校生の自殺は最

多の四百十五人だった。Ⅱ

関連③面

文科省は、いずれもコロ

ナが影響したと分析。「昨

春の一斉休校などで生活の

リズムが乱れやすくなって

不登校が増加した一方、い

じめにつながる対面での交

流機会が減った」としてい

る。

不安や悩みを相談できず

に孤立する恐れが強まって

いるとして、スクールカウ

ンセラーの増員など相談体

制の拡充を進める。

感染不安などを理由に三

十日以上登校しなかった児

童生徒数も初めて調査。小

学生一万四千二百二十八

人、中学生六千六百六十七

人、高校生九千三百八十二

人の計三万二千八十七人に

上った。文科省はオンライ

ン授業の環境を整備し、学

習機会を確保したいとして

いる。

不登校は小学生が二万人

増の六万三千三百五十人、

中学生が四千八百五十五人

増の十三万二千七百七十七

人で、小中学生全体の2・

0%。学校が回答した要因

のうち「本人の無気力、不

安」が最多の46・9%で、

他には「いじめを除く友人

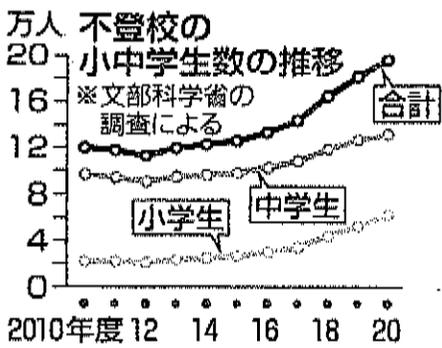
関係」や「親子の関わり

方」が多かった。義務教育

でない高校は七千四十九人

減の四万三千五十一人だっ

た。



万人 不登校の小中学生数の推移 ※文部科学省の調査による